

## 平成 21 年度中国高校生訪日団第 5 陣が来日

千葉、京都、佐賀、徳島、熊本、宮崎、山口、福岡で交流

平成 21 年度中国高校生訪日団第 5 陣（総団長・張益群 国家教育行政学院副院長）が、11 月 15 日から 23 日まで来日した。同代表団は北京市、天津市、河北省、山西省、遼寧省、上海市、江蘇省、浙江省、湖南省、貴州省、陝西省から選抜された 404 名で構成され、A コース 204 名を当財団が、B コース 200 名を（社）日中友好協会が担当し、各地で交流を行った。

代表団は 11 月 15 日に成田から入国。翌 16 日に外務省表敬、セミナー、歓迎レセプションに出席した。外務省表敬訪問では渡邊信之 アジア大洋州局中国・モンゴル課地域調整官が代表団を迎えた。セミナーは、松井孝典 千葉工業大学 惑星探査研究センター所長を講師に迎え、「俯瞰的に見た地球環境問題」をテーマとした環境セミナーを実施した。同日夕刻に行われた歓迎レセプションは A、B 両コース合同で行い、西村智奈美 外務大臣政務官、松野信夫 参議院議員、孫建明 中華人民共和国駐日本国大使館公使参事官ら来賓を含め、総勢約 500 名が参加して盛大に開催された。西村外務大臣政務官は「この滞在を通じて、ありのままの日本の姿を知ってほしい。そして皆さんが見聞きしたことを一人でも多くの方に伝え、日中友好の架け橋となって頂きたい」と述べ、団員への期待を示した。パフォーマンスは東京都立美原高等学校が和太鼓を、中国高校生代表がチベット族の民族舞踊を披露。日中高校生による迫力あるステージに会場から大きな拍手が送られた。



中国高校生がチベット族の民族舞踊を披露（歓迎レセプション）

### 各校で交流プログラムに参加、1泊2日のホームステイを体験

17 日からは 4 コースに分かれて地方へ。第 1 分団は千葉県と京都府、第 2 分団は佐賀県と徳島県、第 3 分団は熊本県と宮崎県、第 4 分団は山口県と福岡県を訪問。各地で学校交流とホームステイを行った。とくに、佐賀県と宮崎県は 21 世紀東アジア青少年大交流計画の中国高校生訪日団として初めて交流が実現した。

学校交流を行ったのは、千葉県 4 校、京都府 7 校、佐賀県 1 校、徳島県 3 校、熊本県 1 校、宮崎県 1 校、山口県 1 校、福岡県 5 校の計 23 校。茶道や邦楽、柔道などの部活動体験や、折り紙製作、太巻き寿司作りなど、それぞれ趣向を凝らしたプログラムに参加して、日本の高校生との友情を育んだ。被服製作の授業を見学した団員は、日本の高校生が器用な手つきでドレスを縫う姿を見て「とても同い年とは思えない」としきりに感心し、英語や身振り手振りを交えて質問したり、一緒に記念写真を撮るなどして交流を深めていた。

このほか、京都府では強豪校 2 校とバスケットボール交流を実施し、男女別の選抜チームが交流試合を行った。いずれも接戦で、リードする日本チームを中国チームが追う展開となり、会場は得点が入るたびに大きな歓声と拍手に包まれた。



新型インフルエンザの影響も懸念されたが、各府県教育庁、受け入れ校、ホストファミリーの協力を得て、全員が予定通り学校交流2回とホームステイを体験することができた。ホームステイ解散式では、ホストファミリーと抱き合ったり握手したりして最後まで別れを惜しみ、家族の一員として温かく迎えてくれたことに対し感謝の気持ちを表現していた。

白熱したバスケットボール交流（京都・洛南高等学校）

### 山口県教育委員会、京都府教育庁へ表敬訪問

山口県では教育委員会を表敬訪問した。藤井俊彦 教育長は「我が県はアジア大陸に近いことから、古くから貴国文化の影響を受けている。日本の高校生との交流を通して、歴史的なつながりやお互いの文化の違いなどを体験し、理解を深めることにより、日中の絆がさらに強まることを希望している」と挨拶し、一行を歓迎した。また、京都府教育庁では、宮野文穂 教育次長が会見。同氏は「これまで本事業でお迎えした皆さんは、日本で友情を育み、帰国後もお互いの心の中に灯った火を広めて頂いていると聞いている。今日お越しの皆さんも先輩方に続いて心と心を繋ぎ、両国の未来への架け橋になってほしい」と述べ、今後の長期的な交流に期待を寄せた。

一行は各地で金閣寺や吉野ヶ里歴史公園、阿蘇火山博物館、秋芳洞などの名所旧跡や自然景勝地を参観したほか、体験学習では友禅染や藍染、手織り体験、手すき和紙に挑戦。地域に根ざした歴史や自然、伝統に触れながら、日本文化を理解するよい機会となった。このほか環境学習では、おおさかATCエコプラザ、佐賀市エコプラザ、熊本市扇田環境センター、北九州エコタウンを参観。日本の先進的な設備と取り組みに感心し、質問を交えながら熱心に説明に聞き入っていた。見学後は「環境問題が自分の生活と密着した問題であることを実感した」「自分も電気や水の節約、ごみの減量など身近なことから始めたい」などの声が聞かれ、環境保護には一人ひとりの意識と実践が大切であることを改めて認識したようだ。

訪日団は全日程を無事終了し、11月23日に大阪と福岡より帰国の途に就いた。本事業の実施にご協力いただいた外務省、文部科学省、中国大使館、各府県教育委員会と受入関係機関、学校関係者、ホームステイ家庭の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(総合交流部)

## 中国高校生の感想

### 日本の印象は？

- ・日本の道路はゴミひとつなく、街並みがとてもきれいでした。歩道がよく整備されていて、日本に1週間以上いたにも関わらず、靴が全く汚れていません。日本の水道水はそのまま飲めるということにも驚きました。
- ・日本は緑が多く、空が青くてきれいでした。
- ・日本人は“2つの節”、即ち「細節（中国語で緻密の意味）」と「礼節」という言葉で形容できると思います。仕事においても家庭においても、細かいところまで注意が行き届いており、礼儀をととても大切に考えているということがわかりました。

### 学校訪問・交流の感想

- ・日本の高校生はとても友好的で、顔見知りであろうがなかろうが、中国語で「ニーハオ！」と挨拶をしてくれて嬉しかったです。
- ・私たちは一緒に平等院へ行きました。言葉が上手く通じないところもあったけれど、日本の高校生は平等院の歴史や展示物について熱心に説明してくれました。彼らがとても親切に対応してくれたことを忘れることができません。
- ・バスケットボール交流で、日本チームはストレッチ、パス、シュートはもちろん、一つひとつの動作に全力投球していて、素晴らしい技術力を持っていると感じました。彼らの速攻に追い付かず、正確なシュートにより点差をつけられたけれど、僕たちも調子がよく、大負けはしませんでした。今回はただバスケット交流をただけでなく、日本人の何事にも全力投球するという精神を学びました。
- ・学校交流が終わって出発するとき、雨が激しく降っていましたが、日本の高校生は私たちが濡れないように一列に並んで傘をさして見送ってくれ、その温かい心遣いにとっても感動しました。

### ホームステイの感想

- ・言葉が通じないので、最初はとても不安でした。しかし、お父さんもお母さんもとても温かく迎えてくれ、意味がわからない時は、辞書で調べたり、絵を描いたりして、私ができるまで丁寧に説明してくれました。
- ・私は日本語が少しできますが、彼女もお母さんもずっと中国語を勉強しているとのことでした。中国語は特にそり舌音が難しいというので、二人に発音を教えてあげました。とても楽しくて、あっという間に時間が過ぎてしまいました。
- ・私たちは一緒に買い物に行き、プリクラを撮りました。家に帰ってからは将棋をしたり、雑誌を読んだりしました。家の人はとても親切で、私を温かく迎えて下さいまし

た。今回、日本の一般家庭の生活を体験して、日本に対する印象が大きく変わり、日本のことが大好きになりました。

- ・ 僕たちは日本の戦国時代や中国の地理についての話で盛り上がりました。お父さんもお母さんもとても親切で、外国にいることを忘れ、自分の家にいるような温かい気持ちになりました。
- ・ ホームステイ中、一番よく聞いた言葉は「大丈夫ですか？」でした。家の人には常に私のことを気にかけてくれ、わからないことがあって尋ねると、熱心に忍耐強く教えてくれました。

### これからの私たち

- ・ 日本の環境保護への取り組みと活動は、私たちも見習うべきだと思います。ゴミの分別収集や污水处理など、一連の処理工程が理路整然と行われていました。
- ・ 短い間でしたが、一生忘れることのできない素晴らしい思い出ができました。帰国したら、日本で体験したこと、感じたことを家族や友人に話してあげようと思います。彼らの日本のイメージもきっと変わることでしょう。
- ・ 日本の高校生との会話の中で、日中間の歴史問題や政治・外交問題の話になりましたが、私たちの意見に大きな隔たりはなく、みんな心から日中友好を願っているということがわかりました。

## 日本高校生の感想

- ・ 歓迎式典の質問の場面では千人近い本校の生徒の前でも臆することなく積極的に次々と手を挙げて質問に答えてくれたことがとても印象的でした。その積極性は体験学習の華道などの場面でも同様で、「これでいいかな?」「これどう思う?」など一生懸命に周りにアドバイスを求めながら作品をつくっている姿からも感じられました。一つでも多くのことを日本から吸収して帰ろうとする姿勢にとっても驚かされました。
- ・ 英単語、漢字での筆談、絵、ジェスチャーなどを使って、思いが伝わったとき、また相手の言っていることが分かったとき、とても嬉しく感じました。好きな芸能人の話は特に盛り上がり、日本の中高生の間で流行ったドラマや映画が中国の中高生にも人気だと知りました。とても短い時間でしたが良い思い出をありがとう。またいつか会えることを願っています。
- ・ 僕が交流した中国の方は目を見てずっと話に耳を傾けてくれました。部活動が中国に

はないので、弓道、茶道などとても熱心に見学していました。私の学校は自然に囲まれていて素晴らしい学校だと言ってくれ、こちら嬉しい気持ちになりました。将来は通訳になりたいとか、日本で働きたいなど、日本にとっても強い憧れ、希望をもって人ばかりで、勉強熱心な人たちでした。

- 私とペアになった方は二人で廊下を歩いていると腕を組んできてくれました。廊下で出会った男の子は「Hello!」と声をかけてくれたうえに、握手の手を差し出してくれました。今回、この交流を終えて思ったことは、言葉なんて友達になるのには関係なくて、中国から日本は嫌われているんだというのは偏見であり、深くつながりあえるということです。
- 私は全然英語が話せないけど、相手は一生懸命私の目を見て、伝えようとしてくれました。だから私も相手に伝えたいという気持ちが強くなって、いつもより相手の目を見て話せたかなと思います。「話す」というのは、ただ言葉が通じ合っていればいいというのではなくて、言葉が通じなくても身振り手振りで話したり、伝えたいという意味が一番大切なのだと分かりました。もし中国や他の国に対して偏見の目をもって人がいたら、実際にその国の人と交流してみるべきだと思います。そうしたら、言葉や文化の違いよりももっと大切なものがあることに気がつくのではないかと思います。
- 特技がピアノと聞いていたので、私と私の妹が一曲ずつ演奏すると、彼女もピアノを演奏してくれました。ジブリの曲なども弾いてくれ、そこから話を発展させることができました。家では他にも、姉と三人で雑誌を見ながら話をしたり、インターネットをしたりしました。日本の歌手やアニメなど、共通の話題が結構あり、私自身も楽しむことができました。
- 英語の得意な姉に頼り、ほとんど話すこともなかった自分だったけど、写真を撮るときはいつも肩を組んでくれて、歩くときはいつも隣を歩いてくれたことを僕は決して忘れないでしょう。別れのときは、何もしてやれなかった僕に何度も「ありがとう」と言ってくれて、僕は自然と涙が込み上げてきました。このホームステイで言葉の壁を乗り越えることは難しいけれど、人間同士の壁は乗り越えられると思いました。
- お別れの時、泣きながら私のことを抱きしめて、日本語で「ありがとう」と繰り返し言ってくれて、私もいっぱい泣いてしまいました。「絶対もう一度日本に来ます」と言ってくれて、一日一緒に過ごせて良かったと思いました。これからも手紙などで連絡を取り合っていこうと思います。

- 中国の高校生と別れて家に帰ると、家の中が小さく静かで、空っぽになったような感じでした。一日くらいしか一緒にいなかったのに、こんなにも寂しくなるものかと思いました。僕はいつも父親とはあまり話さないのですが、父は英語が得意で色々助けてもらい、また家族と鳴門に行ったのも久しぶりで、コミュニケーションが出来てよかったです。本当に素晴らしく幸せな時間を与えて下さった中国の方々や高校の先生方、そして両親に対して感謝の気持ちでいっぱいです。
- 中国と日本は場所はすごく近いですが、過去の歴史上の問題もあり、私の中では日本と中国の関係とはあまり良くないのかなといった考えがありました。しかし、中国のみんなとの交流を通して、私の考え方は変わりました。私の家に滞在することになった方とは夜中の一時過ぎまで意見交換をしたり、お互いの大志を語り合ったりすることができました。生まれ育った環境や国籍、文化も違うのにお互いの意見をシェアすることができたことは、すごく貴重な経験でした。この経験を通して、私たち一人ひとりの繋がりを日本と中国の間のパイプとして、その数を少しずつでも増やしていくことこそが今後の日本と中国が友好的な関係を築き上げるための土台となってくるのではないかと思います。

## 平成21年度中国高校生訪日団第5陣Aコース 活動内容

### 第1分団 千葉・京都コース 生徒(男子35、女子49 計84名) 引率者(21名)

| 日     | 曜日 | 時間 | 予定   |
|-------|----|----|--|
| 11/15 | 日  | 午後 | 成田空港着  |
|       |    | 夕刻 | オリエンテーション  |
| 11/16 | 月  | 午前 | 皇居参観   |
|       |    |    | 外務省表敬訪問<br>浅草参観  |
|       |    | 午後 | 環境セミナー「俯瞰的に見た地球環境問題」<br>講師 松井孝典 氏 (千葉工業大学惑星探査研究センター所長)       |
|       |    | 夕刻 | 歓迎レセプション   |
| 11/17 | 火  | 終日 | 千葉へ移動<br>学校交流(県立天羽高校、県立千葉商業高校、県立茂原高校、<br>県立流山おおたかの森高校)       |
| 11/18 | 水  | 午前 | 京都府へ移動   |
|       |    | 午後 | 体験学習(友禅染体験)<br>バスケットボール交流(洛南高校)                              |
| 11/19 | 木  | 午前 | 京都府オリエンテーション   |
|       |    | 午後 | 学校交流(府立桂高校、府立西乙訓高校、府立城南菱創高校、<br>府立洛西高校、府立桃山高校、府立亀岡高校、府立南丹高校) |
|       |    | 夕刻 | 交流学校生徒宅でホームステイ   |
| 11/20 | 金  | 午前 | 学校交流(19日と同じ)   |
|       |    | 午後 | 金閣寺、清水寺参観  |
| 11/21 | 土  | 午前 | 大阪城参観  |
|       |    | 午後 | バスケットボール交流(京都精華女子高校)   |
| 11/22 | 日  | 午前 | 環境学習(おおさかATCエコプラザ参観)   |
|       |    | 午後 | 商業施設参観   |
|       |    | 夕刻 | 歓送報告会  |
| 11/23 | 月  | 午前 | 関西空港発  |

### 第2分団 佐賀・徳島コース 生徒(男子7、女子14 計21名) 引率者(4名)

| 日     | 曜日 | 時間 | 予定              |
|-------|----|----|-----------------|
| 11/15 | 日  | 午後 | 成田空港着           |
|       |    | 夕刻 | オリエンテーション       |
| 11/16 | 日  | 午前 | 皇居参観            |
|       |    |    | 外務省表敬訪問<br>浅草参観 |
|       |    |    |                 |

|       |   |    |   |
|-------|---|----|---|
| 11/16 | 火 | 午後 | 環境セミナー「俯瞰的に見た地球環境問題」<br>講師 松井孝典 氏（千葉工業大学惑星探査研究センター所長） |
|       |   | 夕刻 | 歓迎レセプション  |
| 11/17 | 火 | 午前 | 佐賀県へ移動  |
|       |   | 午後 | 吉野ヶ里歴史公園、佐賀城本丸歴史館参観                                   |
| 11/18 | 水 | 終日 | 学校交流(佐賀県立牛津高校)  |
| 11/19 | 木 | 午前 | 佐賀県九州陶磁文化館参観  |
|       |   | 午後 | 環境学習(佐賀市エコプラザ参観)<br>徳島県へ移動                            |
| 11/20 | 金 | 終日 | 学校交流<br>(県立城南高校、県立城東高校、県立富岡西高校)                       |
|       |   | 夕刻 | 交流学校生徒宅でホームステイ  |
| 11/21 | 土 | 午前 | ホストファミリーと自由行動   |
|       |   | 午後 | 集合会場へ集合<br>商業施設参観                                     |
| 11/22 | 日 | 午前 | 体験学習(藍染体験)  |
|       |   | 午後 | 阿波おどり会館参観、フェリーで和歌山へ移動                                 |
|       |   | 夕刻 | 歓送報告会   |
| 11/23 | 月 | 午前 | 関西空港発   |

第3分団 熊本・宮崎コース 生徒(男子9、女子12 計21名) 引率者(4名)

| 日     | 曜日 | 時間 | 予定  |
|-------|----|----|---|
| 11/15 | 日  | 午後 | 成田空港着   |
|       |    | 夜  | オリエンテーション   |
| 11/16 | 月  | 午前 | 皇居参観<br>外務省表敬訪問<br>浅草参観                               |
|       |    | 午後 | 環境セミナー「俯瞰的に見た地球環境問題」<br>講師 松井孝典 氏（千葉工業大学惑星探査研究センター所長） |
|       |    | 夜  | 歓迎レセプション  |
| 11/17 | 火  | 午前 | 熊本県へ移動  |
|       |    | 午後 | 阿蘇火山博物館参観   |
| 11/18 | 水  | 終日 | 学校交流(熊本県立阿蘇清峰高校)                                      |
| 11/19 | 木  | 午前 | 環境学習(熊本市扇田環境センター参観)<br>熊本城参観                          |
|       |    | 午後 | 水前寺成趣園参観、宮崎へ移動  |
| 11/20 | 金  | 終日 | 学校交流(県立都農高校)  |
|       |    | 夜  | 交流学校生徒宅でホームステイ  |

|       |   |    |                   |
|-------|---|----|-------------------|
| 11/21 | 土 | 午前 | ホストファミリーと自由行動     |
|       |   | 午後 | 集合会場へ集合<br>商業施設参観 |
| 11/22 | 日 | 午前 | 体験学習(手織体験)        |
|       |   | 午後 | 福岡県へ移動、ロボスクエア参観   |
|       |   | 夕刻 | 歓送報告会             |
| 11/23 | 月 | 午前 | 太宰府天満宮、九州国立博物館参観  |
|       |   | 午後 | 福岡空港発             |

第4分団 山口・福岡コース 生徒(男子18、女子26 計44名) 引率者(5名)

| 日     | 曜日 | 時間 | 予定   |
|-------|----|----|--|
| 11/15 | 日  | 午後 | 成田空港着  |
|       |    | 夜  | オリエンテーション  |
| 11/16 | 月  | 午前 | 皇居参観<br>外務省表敬訪問<br>浅草参観                                |
|       |    | 午後 | 環境セミナー「俯瞰的に見た地球環境問題」<br>講師 松井孝典 氏 (千葉工業大学惑星探査研究センター所長) |
|       |    | 夜  | 歓迎レセプション   |
| 11/17 | 火  | 午前 | 山口県へ移動   |
|       |    | 午後 | 山口県オリエンテーション<br>瑠璃光寺五重塔参観                              |
| 11/18 | 水  | 終日 | 学校交流(山口県立下松高校)   |
| 11/19 | 木  | 午前 | 秋芳洞参観、福岡県へ移動   |
|       |    | 午後 | 環境学習(北九州エコタウン参観)                                       |
| 11/20 | 金  | 終日 | 学校交流(県立明善高校、県立八女高校、県立三池高校、<br>県立ありあけ新世高校、県立久留米高校)      |
|       |    | 夜  | 交流学校生徒宅でホームステイ   |
| 11/21 | 土  | 午前 | ホストファミリーと自由行動  |
|       |    | 午後 | 集合会場へ集合<br>体験学習(手すき和紙体験)                               |
| 11/22 | 日  | 午前 | 大濠公園日本庭園、博多町家ふるさと館参観                                   |
|       |    | 午後 | ロボスクエア、商業施設参観  |
|       |    | 夕刻 | 歓送報告会  |
| 11/23 | 月  | 午前 | 太宰府天満宮、九州国立博物館参観                                       |
|       |    | 午後 | 福岡空港発  |